

マルパ講演会

社会的排除はなぜ起きるのか？

—包摂に向けて公共施設ができることを考える—

2020（令和2）年1月26日（日）

14：30～16：15（受付14：00～）

岩田 正美さん

日本女子大学名誉教授

- ◆会場 神奈川韓国会館7階ホール（横浜市神奈川区鶴屋町2-10-1）
- ◆定員 30名（事前申込制/先着順）
- ◆対象 どなたでも ◆参加費 無料
- ◆主催 公益財団法人かながわ国際交流財団/マルパ実行委員会

「社会的排除」あるいは「社会的孤立」という言葉を新聞などのメディアで目にすることが多くなりましたが、それらは身近なところで起きているにも関わらず、可視化されにくい
ため、わかりづらいものとなっています。今回の講演会では社会福祉学の第一人者であり、
『社会的排除－参加の欠如・不確かな帰属』の著者でもある岩田正美さんに、そもそもそれが
どのような状況のことを指し、なぜ起きるのか、また、それに対応した政策である「社会的
包摂」について、わかりやすく解説していただきます。後半では参加者のみなさまとともに、
社会的包摂に向けて、図書館・博物館・美術館等の社会教育・文化関連の公共施設ができる
ことを考えていきます。

プロフィール 1947年生まれ。日本女子大学名誉教授・放送大学客員教授・日本福祉大学客員教授
社会福祉学、貧困論を専攻。中央大学大学院経済学研究科修士課程修了、日本女子大学博士（社会福祉学）。東京都立大
学人文学部助教授、教授を経て、日本女子大学人間社会学部教授。2015年、定年退職。

主な著書として『戦後社会福祉の展開と大都市最底辺』（ミネルヴァ書房、第二回社会政策学会学術賞、第四回福武直賞受賞）
『ホームレス/現代社会/福祉国家』（明石書店）、『現代の貧困－ワーキングプア/ホームレス/生活保護』（筑摩書房）
『社会的排除－参加の欠如・不確かな帰属』（有斐閣）、『社会福祉のトポス』（有斐閣、2017年度日本社会福祉学会学術賞受賞）
『貧困の戦後史－貧困の「かたち」はどう変わったのか』（筑摩書房）。

申込方法及びお問い合わせ 裏面をごらんください

マルパ (MULPA) とは

Museum UnLearning Program for All/みんなで“まなびほぐす”美術館－社会を包
む教育普及事業－の略称。（公財）かながわ国際交流財団が神奈川県内にある4つの公立
美術館（神奈川県立近代美術館・茅ヶ崎市美術館・平塚市美術館・横須賀美術館）等に呼
びかけ、定住外国人や障がいのある方々等を含む「すべての地域住民」の美術館へのアク
セス向上やインクルーシブな教育普及事業の企画・実践を目的として、2016年度から始
まったプラットフォーム型アートプロジェクト。ウェブサイト www.kifjp.org/mulpa/

MULPA
Museum UnLearning Program for All
みんなで“まなびほぐす”美術館－社会を包む教育普及事業－

● 当日スケジュール

14:30~14:50 開催あいさつ・趣旨説明 14:50~15:35 講演
 15:35~15:50 各テーブルでの感想シェア 15:50~16:15 参加者との質疑応答
 16:15~16:45 情報交換会

● 申込方法

申込締切 2020年1月24日（金）17:00

FAX	Eメール
下記申込書にご記入の上、送信してください。	下記申込書の内容（①～⑦）をEメールにご記入の上、送信してください。
送信先 046-858-1210	送信先 mulpa@kifjp.org

※受付後、参加の可否をご連絡いたします。

問い合わせ先 公益財団法人かながわ国際交流財団（担当 野呂田）TEL 046-855-1821
 〒240-0198 神奈川県三浦郡葉山町上山口1560-39 湘南国際村センター内

参加申込書 マルパ講演会「社会的排除はなぜ起きるのか？」	
①氏名	
②住所	
③TEL/FAX	TEL FAX
④Eメール	
⑤所属	
⑥本講演会で特にどのような点をお聞きになりたいですか？（30字以内）	
⑦本講演会を知ったきっかけ（ちらしの入手先など）	
備考欄	

※お送りいただいた個人情報、公益財団法人かながわ国際交流財団が取り扱い、第三者には提供いたしません。今後、イベント等のご案内をさせていただく場合がございます。

※手話通訳・言語通訳のサポートが必要な場合は備考欄にその旨をご記入ください。すべてのご希望に添えない場合がございますが、その際はあらかじめご相談させていただきます。

会場までのアクセス

住所：横浜市神奈川区鶴屋町2-10-1

JR線・東急東横線 横浜駅 北西口出口より徒歩5分

